

初等中等教育における観光教育の推進について

国土交通省 観光庁
参事官(観光人材政策)付
令和3年3月13日(土)

観光教育のこれまでの取り組みと推進の必要性

観光教育の背景と推進の必要性

観光立国を実現するためには、観光が「**地方創生への切り札、成長戦略の柱**」として、その裾野の広さと経済波及効果の大きさを活かし、**日本の津々浦々で活力にあふれた地域社会を築いていく**ことが必要。このためには、**成長の早期の段階**から、地域固有の文化、歴史、観光による交流の意義や経済的な効果等に関する教育を推進することにより、**日本及び地域の愛着と誇りの醸成を図るとともに、観光の意義に対する理解を深める**ことが重要。

これまでも、**小学校・中学校・高校（普通科・専門学科）の各段階**で、**観光教育に関する取組**が行われているが、今後は、こうした取組みの**全国への普及・展開**を見据え、**観光教育の意義をあらためて確認**するとともに、**目的・方向性を共有し、観光教育を普及するためのプログラムの開発**などに取り組むことが必要。

観光教育に関するこれまでの取り組み

観光庁 実施施策

学校現場、外部団体 活動内容

	授業 (社会科等) (私立学校:選択授業等)		授業 (総合的な学習・探究の時間)		課外活動 (部活動等)	その他 (地域主導)
小学校	社会科目の 指導案を作成 (観光庁) 2019年度	モデル授業 実施(日本観 光振興協会)	観光教育のモデル 授業案を作成 (観光庁 2018年 度) 「導入編」「展開 編」「応用編」の 3つのモデル授 業案を掲示。	観光教育 副読本を作成 (日本観光 振興協会) ※北海道・京都・沖 縄の自治体は独自 の副読本を作成	学校単位で様々な取り組みが行われている。 (例1) 沖縄の伝統芸能を体験し 英語でプレゼンテーション (沖縄光洋小学校) (例2) 鎌倉を訪れる訪日外国人に ガイドを実施 (鎌倉学園中学校)	子ども観光大使 自分の地域の良さを体験、 発信し、よりよい地域づくりを する子どもたちを全国で育て ていく。 (TOSS)
中学校						
高校 (普通科)	私立高校(文科省SGH) 選択授業で、観光教育を実施 (立教、早稲田)		観光甲子園 次代を担う高校生をグローバル人材として育成。 (NEXT TOURISM)			
高校 (専門学科)	商業高校で 「観光ビジネス」科目の創設 (2022年～)		全国高等学校観光教育研究大会・観高サミット 観光に関する学科・コースを設置している全国の高等学校が参加。 (全国高等学校観光教育研究協議会)			

産学官連携による観光教育の推進(「協議会・分科会の設置」)

観光教育の推進に向けた課題

✓ 観光教育の「意義」の共通認識の形成

「観光」の裾野の広さ故に漠然とした観光教育の意義について、関係者間で共通認識を図り、今後の取組み等の土台とする。

✓ 各教育段階における観光教育の「目的」と「方向性」の相互共有・理解

各教育段階において、観光教育に取り組む目的・方向性の相互理解を深めることで、より有機的な連携を図る。

✓ 観光教育の「普及」に向けた効果的な取組み方策の開発

地域・学校間で格差なく広く行われるよう、また、商業高校での「観光ビジネス」科目の導入に向け、取組みを加速化し、観光教育の普及を促進する。

産官学の観光教育関係者による協議会・分科会を開催し、観光教育の意義、目的・方向性、普及に向けた方策等を議論・検討。

▶▶▶ 発達段階に応じた観光教育プログラムやコンテンツの開発、教員勉強会等を実施。

【スケジュール】

2020年度

- ・教員・観光産業界へのヒアリング（9月～）
- ・協議会・分科会（10月～3月）
 - ※）協議会（第1回：10月2日、第2回3月頃）
 - ※）分科会は[小中]・[高(普通科)]・[高(専門学科)]に分けて開催
- ・ワークショップ（3月頃）
 - ※）オンラインで開催。

2021年度

- ・観光教育プログラム等開発、実証事業の展開
 - ※）教育プログラム案
教材（ワークブック・動画教材等）
+
指導支援ツール（指導ガイド等）
- ・教員勉強会の開催

・協議会

上記の施策をサポートし、観光教育の理解を深める。

2022年度～

- ・観光教育プログラムを学校現場に導入
 - ※）2022年度から商業高校で「観光ビジネス」科目の導入開始
- ・教員勉強会・ワークショップ
 - ※）観光教育の認知度を高める。

検討過程

2020年11月から2021年1月にかけて、「小中」「高校（普通科）」「高校（専門学科）」の3部門に分かれて議論を行った。分科会委員は学校教員を中心とし、現場の生の取組・課題感を抽出・議論した。

日程

小学校・中学校 部門

2020/11/24

2020/12/14

高校（普通科）部門

2020/11/20

2020/12/23

2021/1/19

高校（専門学科）部門

2020/11/30

2020/12/18

参加者※

【座長】

寺本 潔 氏

【委員】

内川 健 氏

河合 豊明 氏

高清水 英俊 氏

手塚 美和 氏

【統括座長】

穴戸 学 氏

【オブザーバー・ゲストスピーカー】

新保 元康 氏

(NPO法人 ほっかいどう学推進フォーラム
理事長)

【座長】

村上 和夫 氏

【委員】

高嶋 竜平 氏

中村 太悟 氏

【統括座長】

穴戸 学 氏

【オブザーバー・ゲストスピーカー】

中野 憲 氏

(株式会社JTB 教育事業ソリューション
センター センター長)

原 一樹 氏

(京都外国語大学 教授)

【座長・統括座長】

穴戸 学 氏

【委員】

大日方 樹 氏

大屋 泰彦 氏

北村 由美 氏

鈴鹿 剛 氏

【オブザーバー・ゲストスピーカー】

鈴木 恵一 氏

(市立札幌啓北商業高等学校 校長)

中谷 知記 氏

(北海道二セコ高等学校 教諭)

■ 観光教育で育める資質・能力（※一例）

小中
学校

- ・観光の意義について理解を深め、日本及び地域への愛着と誇りを醸成する。
- ・国内外の各地の魅力や独自性に気付く。探究・交流を通じ、魅力の価値化に携わる。

表現力

発信する力

他地域と比較する力

プランニング旅行する力

品位・モラル

コミュニケーション力

コーディネート力・プロデュース力

問題解決や自己理解のための
気づく力

俯瞰力・客観的に見る力

批判的思考

高校
(普通科)

データや情報の収集・分析・活用

マルチタスクの力

高校
(専門学
科)

- ・観光を通じて、気づく力、問いを立てる力、解決する力を高める。
- ・観光を通じて、自己の価値観・美意識・教養を育み、人間形成や将来設計につなげる。

- ・プロデュース力や俯瞰力を高める。
- ・観光の基礎能力（魅力の価値化や交流促進に関する理念や方法など）を育む。

令和3年度 予算概算要求（観光教育関係）

観光産業における人材確保・育成事業

観光庁(参事官(観光人材政策担当))：119百万円

- ウィズコロナ時代においても観光産業を我が国の成長に資する基幹産業とするためには、各地域で新しい生活様式やビジネスモデルに対応する観光人材を確保・育成する必要がある。
- このため、地域の観光産業を担う中核人材や即戦力となる現場の実務人材の育成等を図るとともに、次代の観光産業を担う世代に向けた観光教育の推進を図る。

事業概要

➤ 観光産業の中核人材育成・強化事業

- ・ 宿泊業や旅行業等の観光産業従事者を対象とした、産学連携による社会人向け教育プログラムを大学で実施し、観光産業に従事する人材の強化を図る。

➤ 地域における観光産業の実務人材確保事業

- ・ 人手不足の背景となっている様々な課題等の解決に向けて、地域の規模や特色を鑑みた上で、女性・シニア・氷河期世代等の人材確保・定着を図るためのモデル事業を実施し、モデル事業により得たノウハウを宿泊業界全体に展開することで、人材の確保・定着を図る。

➤ 宿泊業における外国人材受入れ環境整備事業

- ・ 宿泊業における外国人材受入れに関する優良事例や情報等をセミナーやHPで発信するほか、特定技能外国人の在留期間（5年間）のキャリアパスを描くモデル事業を実施する。さらに、特定技能外国人の雇用状況等の把握や受入施設に対する情報発信に資するシステムを整備する。

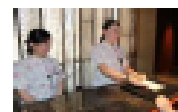
➤ 未来の観光人材育成事業

- ・ 文部科学省・教育委員会、観光産業界と連携し、「教育プログラム」の開発・実証や教員勉強会を実施し、その成果の分析や観光教育を全国に展開していくための仕掛けを検討する協議会を開催する。

「社会人向け教育プログラムを実施している風景」



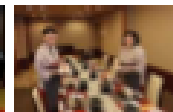
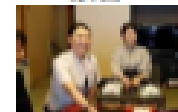
宿泊分野における特定技能外国人の業務内容
フロント 企画・広報



接客



レストランサービス




観光庁における観光教育の取り組み

観光教育の普及

- **先進事例の調査・整理**（2017年度）
国内10事例、海外3事例を調査し、その効果や課題を抽出。
- **モデル授業案の作成・効果検証**（2017～2018年度）
先進事例を踏まえ、総合的な学習の時間での実施を想定したモデル授業案(ガイドライン)を作成し、2校で効果検証。
- **教員向け啓発動画の制作**（2018年度）
観光教育を実践する上で有効な知見や指導方法等をわかりやすくまとめた教員向けの啓発動画「観光教育ノススメ」を制作。
観光庁HPから視聴可能。
- **小中学校の社会科で活用する指導案を作成**（2019年度）
小学3年生から中学3年生までの社会科の授業において、「観光」の視点を取り入れた指導案を作成。「観光」を通じて、社会科の深い学びを目指す。

若者の海外旅行促進

- **「若旅★授業」**(2012年度～)
2013年2月より、「旅に出たい、出よう」という気持ちへの働き掛けを行うべく、旅に精通した方を講師として派遣し、学生に旅の意義・素晴らしさを伝える。
2020年3月までに、
中学校・高校・大学において、
累計73回の授業を実施。
- 
- **「若者のアウトバウンド推進実行会議」を開催**(2018年度～)
2019年1月より、若者のアウトバウンドを促進するため、「若者のアウトバウンド推進実行会議」を立ち上げ、海外渡航経験がない20歳の若者に海外体験を無料で提供する「ハタチの一步～20歳 初めての海外体験プロジェクト～」を実施。

観光教育シンポジウムの開催

2019年3月に、観光教育シンポジウムを開催し、モデル授業の結果報告、有識者によるパネルディスカッションを実施。
全国から、教育関係者や観光業界関係者など、50名の方に参加いただいた。